

野村外国株（含む新興国） インデックス Aコース （野村投資一任口座向け）

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第4期（決算日2019年7月17日）

作成対象期間（2019年1月18日～2019年7月17日）

第4期末（2019年7月17日）	
基準価額	10,744円
純資産総額	5,316百万円
第4期	
騰落率	12.9%
分配金（税込み）合計	20円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書（全体版）は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書（全体版）」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、外国株式為替ヘッジ型マザーファンドおよび新興国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI指数とMSCIエマージング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数を対象指数とし、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

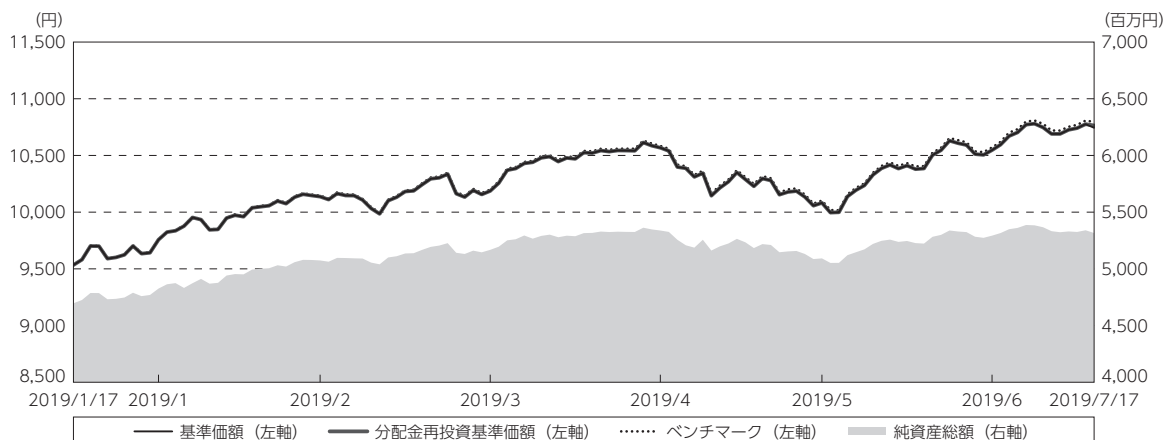
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年1月18日～2019年7月17日)



期首：9,534円

期末：10,744円（既払分配金（税込み）：20円）

騰落率：12.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年1月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI指数とMSCIエマージング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数です。詳細は4ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首（2019年1月17日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首9,534円から期末10,764円（分配金込み）に1,230円の値上がりとなりました。

堅調な欧米企業の決算や市場予想を上回る米国の経済指標の発表、米中貿易協議の進展への期待などから、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

(2019年1月18日～2019年7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	21	0.204	
(販売会社)	(16)	(0.161)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(受託会社)	(3)	(0.027)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0.004)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.003)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.015	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	23	0.228	
期中の平均基準価額は、10,213円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

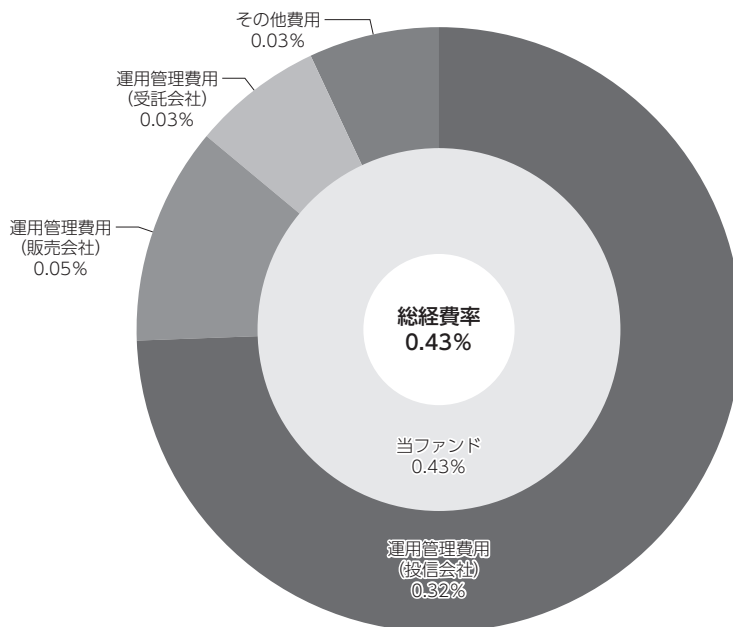
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.43%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年7月17日～2019年7月17日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) ベンチマークは、MSCI-KOKUSAI 指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI 指数とMSCIエマージング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数です。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、設定時を10,000として計算しております。
 (注) 当ファンドの設定日は2017年12月15日です。

	2017年12月15日 設定日	2018年7月17日 決算日	2019年7月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,262	10,744
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	15	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.8	4.9
ベンチマーク騰落率 (%)	—	3.4	5.6
純資産総額 (百万円)	10	3,676	5,316

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年7月17日の騰落率は設定当初との比較です。

* ベンチマークは、MSCI-KOKUSAI 指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI 指数とMSCIエマージング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数です。指数の合成にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値をもとにしています。

* MSCI 指数は、MSCI が独占的に所有しています。MSCI 及び MSCI 指数は、MSCI 及びその関係会社のサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は特定の目的のためにその使用を許諾されています。
 ここに記載されたいかなるファンドも、MSCI、MSCI の関連会社及び MSCI 指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者のいかなる者がその合法性および適合性に関して判断したものではありません。また、これを発行、後援、推奨、販売、運用または宣伝するものでもなく、ここに記載されたいかなるファンドに関していかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。

請求目録見書には、MSCI が野村アセットマネジメント株式会社およびその関連するファンドと有する限定的な関係について、より詳細な記述があります。

(出所) MSCI

投資環境

（2019年1月18日～2019年7月17日）

主要投資国の株式市場は、期首から堅調な欧米企業の決算や市場予想を上回る米国の経済指標の発表、米中貿易協議の進展への期待、FOMC（米連邦公開市場委員会）で年内の利上げ見送りなどの方針が示されたことなどを背景に上昇しました。2019年5月には、米中貿易摩擦の長期化懸念や中国通信機器大手企業に対する米国の輸出規制措置の発表などが警戒され下落しましたが、6月には米中貿易協議再開への期待や米利下げ観測が高まったことなどをを受けて上昇に転じました。

当ファンドのポートフォリオ

（2019年1月18日～2019年7月17日）

【野村外国株（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）】

MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI指数とMSCIエマージング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数（対象指数）における先進国（除く日本）および新興国の割合に基づいて【外国株式為替ヘッジ型マザーファンド】受益証券および【新興国株式マザーファンド】受益証券ならびに株式先物を組み入れ、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。なお、先進国株式への実質的な投資に伴う為替ヘッジはマザーファンドにおいて行いましたが、新興国株式への投資に伴い実質的に組み入れた外貨建資産については、米ドル売り円買いの為替予約取引を行いました。各マザーファンド受益証券および株式先物の組入比率の合計は期を通じ高位に維持しました。

【外国株式為替ヘッジ型マザーファンド】**・株式組入比率**

株式（投資信託証券や先物を含む）組入比率は、期を通じて概ねベンチマーク（MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり））の株式比率と同等に維持しました。

・期中の主な動き

ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指し、現物株式への投資にあたっては、各銘柄への投資比率を各銘柄がベンチマークの中で占める比率にほぼ一致させ、ベンチマークの変更（銘柄入れ替え、比率変更など）に対応して適宜ポートフォリオの見直しおよび修正を行い、資金流出入に対しても速やかに対応しました。

・為替ヘッジ

為替ヘッジ（為替の売り予約）を行い、為替の送金などを含んだ外貨建て資産の実質組入比率を期を通じて概ねベンチマークの外貨比率と同等に維持しました。

【新興国株式マザーファンド】

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円換算ベース）の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指すため、新興国の株式（DR（預託証券）を含む）に幅広く分散投資し、上場投資信託証券（ETF）や株式先物への投資も一部行いました。期中の資金流出入やMSCIエマージング・マーケット・インデックスの変更（銘柄入れ替え、比率変更など）に対応して適宜ポートフォリオの見直しを行い、実質株式組入比率は期を通じて高位を維持しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年1月18日～2019年7月17日）

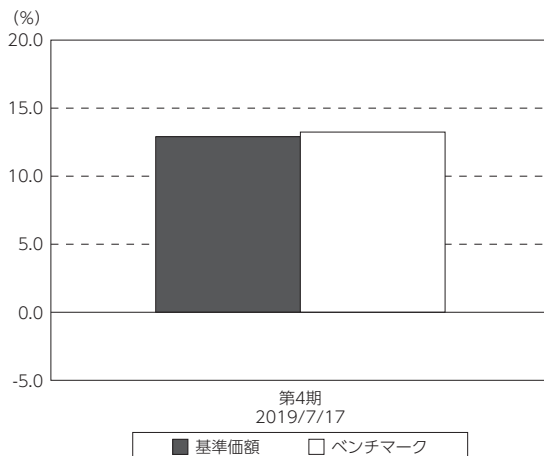
今期の基準価額の騰落率は+12.9%となり、ベンチマークである対象指数の+13.2%を0.3ポイント下回りました。

【主な差異要因】

（マイナス要因）

- ①コスト負担（当ファンドにかかる信託報酬や、マザーファンドでかかる売買コストや保管費用など）
- ②配当金に対する課税（ファンドでは税引き後の配当金が計上される一方、ベンチマークは税引き前で計算されるため）

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



- (注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
 (注) ベンチマークは、MSCI-KOKUSA指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSA指数とMSCIエマージング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数です。

分配金

（2019年1月18日～2019年7月17日）

収益分配金は、基準価額水準等を勘案して決定させていただきました。
 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第4期	
	2019年1月18日～2019年7月17日	
当期分配金	20	
（対基準価額比率）	0.186%	
当期の収益	20	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	744	

- (注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[野村外国株（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）]

MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI指数とMSCIエマージング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数（対象指数）における先進国（除く日本）および新興国の割合に基づいて [外国株式為替ヘッジ型マザーファンド] 受益証券および [新興国株式マザーファンド] 受益証券ならびに株式先物を組み入れ、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。先進国株式への実質的な投資に伴う為替ヘッジはマザーファンドにおいて行いますが、新興国株式への投資に伴い実質的に組み入れた外貨建資産については、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行います。

[外国株式為替ヘッジ型マザーファンド]

引き続き、MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

[新興国株式マザーファンド]

引き続き、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円換算ベース）の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

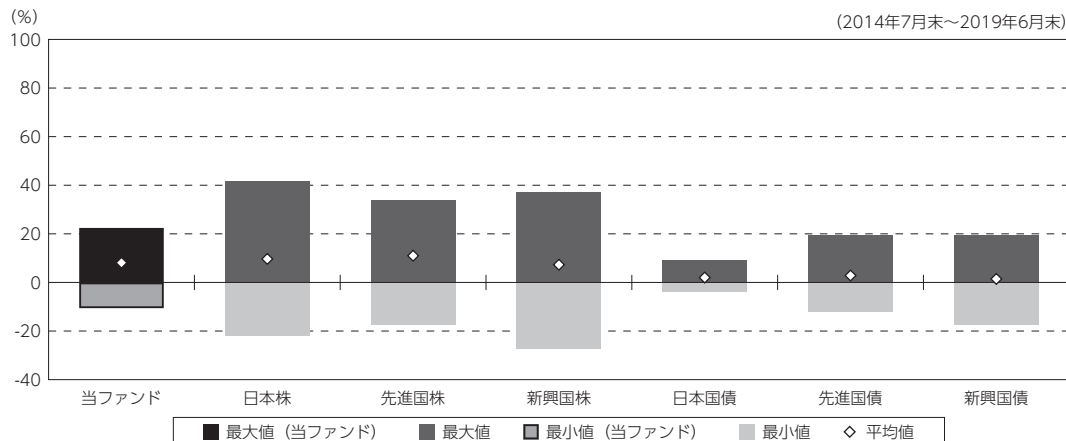
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2017年12月15日以降、無期限とします。	
運用方針	<p>外国株式為替ヘッジ型マザーファンドおよび新興国株式マザーファンド（以下「各マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、外国の株式（新興国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI指数とMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数を対象指数とし、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <p>先進国株式（除く日本）への実質的な投資に伴う為替ヘッジはマザーファンドにおいて行うため、先進国株式（除く日本）の実質的な保有分について、当ファンドにおいては原則として行いません。</p> <p>新興国株式への投資に伴い実質的に組入れた外貨建て資産については、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行います。</p>	
主要投資対象	野村外国株（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）	各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株価指数先物取引および外国為替予約取引等を活用する場合や、株式等に直接投資する場合があります。
	外国株式為替ヘッジ型マザーファンド	外国の株式を主要投資対象とします。
	新興国株式マザーファンド	新興国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	各マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジあり）とMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース・米ドル売り円買い）の月次リターンを、MSCI-KOKUSAI指数とMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスの時価総額加重で合成して算出した指数を対象指数とし、対象指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.4	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 10.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	8.1	9.7	11.0	7.3	2.0	2.8	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年7月から2019年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象指数（合成指数）を用いて算出しております。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年7月17日現在)

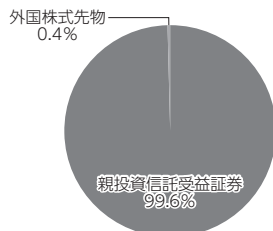
○組入上位10銘柄

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国（地域）	比率
1	MSCIN 1909	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	0.4%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
組入銘柄数			1銘柄		

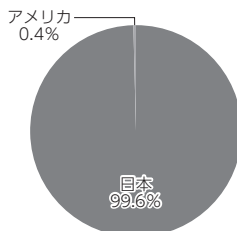
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
外国株式為替ヘッジ型マザーファンド	87.4%
新興国株式マザーファンド	12.2%
組入銘柄数	2銘柄

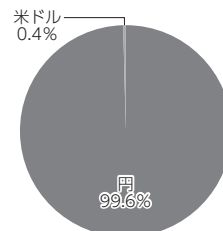
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
 (注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第4期末
	2019年7月17日
純資産総額	5,316,082,089円
受益権総口数	4,947,807,348口
1万口当たり基準価額	10,744円

(注) 期中における追加設定元本額は659,621,697円、同解約元本額は637,645,818円です。

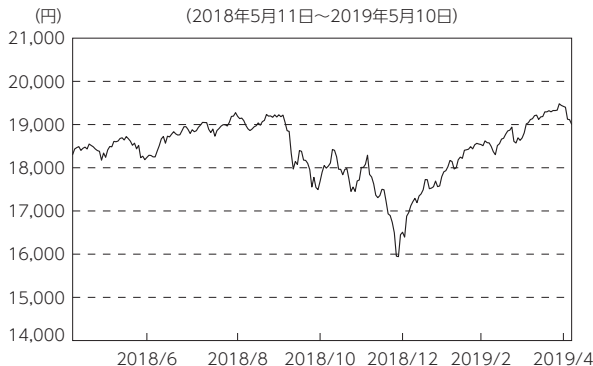
組入上位ファンドの概要

外国株式為替ヘッジ型マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2018年5月11日～2019年5月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年5月11日～2019年5月10日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1) (0) (0)	0.006 (0.004) (0.000) (0.002)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.009 (0.008) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (3) (1)	0.022 (0.015) (0.007)
合 計	7	0.037

期中の平均基準価額は、18,369円です。

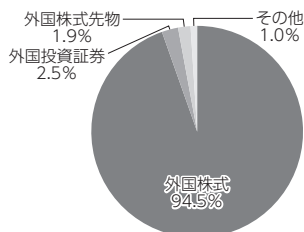
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

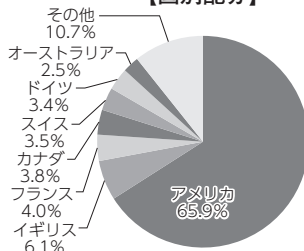
(2019年5月10日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	米ドル	アメリカ	2.5%
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア	米ドル	アメリカ	2.4
3 AMAZON.COM INC	インターネット販売・通信販売	米ドル	アメリカ	2.1
4 SPENINI 1906	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	1.4
5 FACEBOOK INC-A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	1.2
6 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	1.0
7 JOHNSON & JOHNSON	医薬品	米ドル	アメリカ	1.0
8 ALPHABET INC-CL C	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	1.0
9 ALPHABET INC-CL A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	0.9
10 EXXON MOBIL CORP	石油・ガス・消耗燃料	米ドル	アメリカ	0.9
組入銘柄数			1,323銘柄	

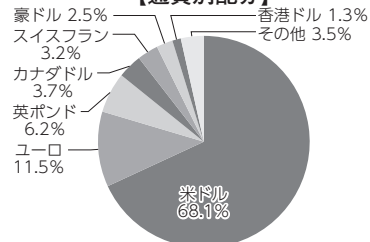
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



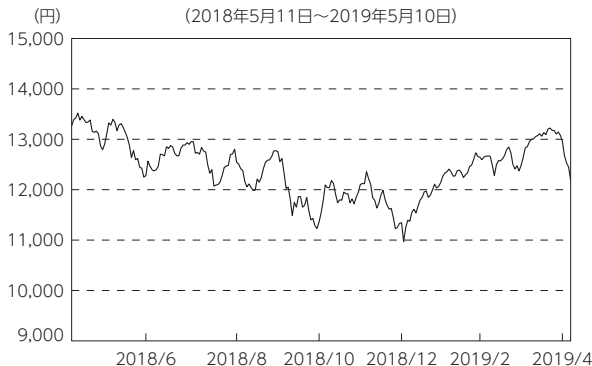
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

新興国株式マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2018年5月11日～2019年5月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年5月11日～2019年5月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	3	0.027%
（株式）	(3)	(0.022)
（新株予約権証券）	(0)	(0.000)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
（先物・オプション）	(1)	(0.004)
(b) 有価証券取引税	2	0.017%
（株式）	(2)	(0.017)
（新株予約権証券）	(0)	(0.000)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
(c) その他費用	11	0.089%
（保管費用）	(9)	(0.073)
（その他）	(2)	(0.016)
合計	16	0.133%

期中の平均基準価額は、12,362円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

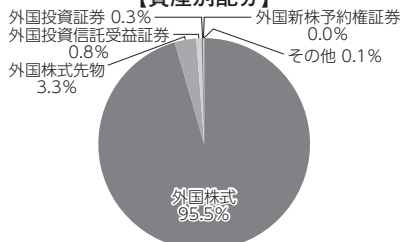
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

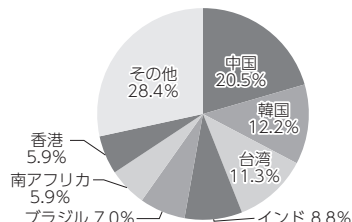
(2019年5月10日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1 TENCENT HOLDINGS LTD	インタラクティブ・メディアおよびサービス	香港ドル	香港	5.1%
2 ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	インターネット販売・通信販売	米ドル	中国	4.3%
3 TAIWAN SEMI CONDUCTOR	半導体・半導体製造装置	台湾ドル	台湾	3.8%
4 MSCIN 1906	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	3.3%
5 SAMSUNG ELECTRONICS	コンピュータ・周辺機器	韓国ウォン	韓国	3.2%
6 NASPERS LTD-N SHS	インターネット販売・通信販売	南アフリカランド	南アフリカ	2.0%
7 CHINA CONSTRUCTION BANK-H	銀行	香港ドル	中国	1.5%
8 PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	香港ドル	中国	1.1%
9 CHINA MOBILE LTD	無線通信サービス	香港ドル	中国	1.1%
10 RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	石油・ガス・消耗燃料	インドルピー	インド	1.0%
組入銘柄数		905銘柄		

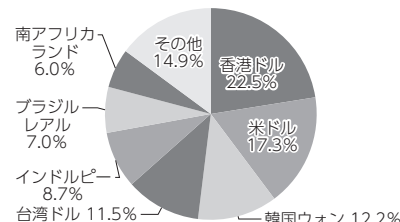
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）

＜お申し込み時の留意点＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年7月17日現在)

年 月	日
2019年7月	－
8月	－
9月	2
10月	－
11月	28
12月	25

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。